

学び合いの授業づくり 提案授業③ 2017.9.13 学びの風景
 2年 数学科 (授業者 瀬藤晶貴先生)
 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指して



まずは独り（ひとり）で考えよう



わからなかったら訊（き）こう



訊（き）かれたら応えてね



訊（き）かれるまでは教えない



自分の考えを書く



自分の考えを説明する

【馬場宏明先生のご指導・ご助言より】

子ども達の学ぶ風景が見られた。あきらめずに課題に取り組む姿が見られた。教室のムードが良い。先生の声のトーンが静かで子ども達を楽にさせていた。先生の立つ位置も良かった。子ども達の学びを邪魔しない。先生の問いかけにより子どもの言葉で説明させることで学びが深まる。学び合いは簡単に答えが出ない課題に出会ったときに成立する。



静かなトーンで生徒の考えをつなぐ



一心不乱に考える



「説明」を書く場面
 (考えを整理する)



協議会での教員相互の学び



ジャンプの課題に取り組む



まずは自力解決をめざす



みんなが分かるまで説明させる
 (考えが深まる)



馬場宏明先生のご指導・ご助言